

## お客様からの製品フィードバック

製品名 : KAPA Library Quantification kits (KK4851)  
 メーカー名 : KAPA BIOSYSTEMS 社  
 アプリケーション : qPCR法を用いたライブラリー定量による、  
 次世代シーケンス・リード数の安定化 (Roche社 GS Junior)

このアプリケーションノートは、独立行政法人 国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター 杉山真也様のご厚意により掲載させていただきました。

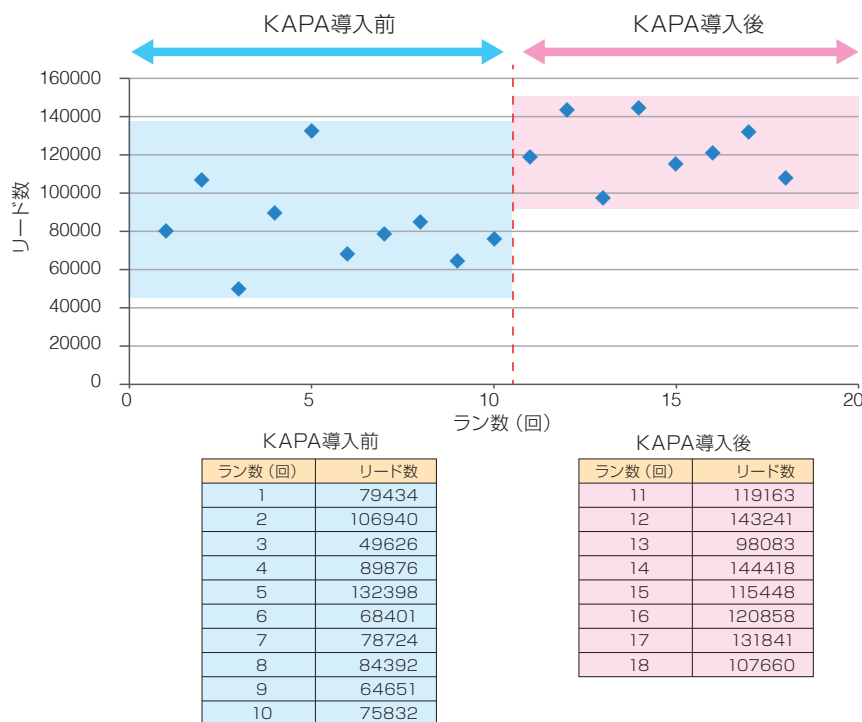
### 比較検討方法

qPCR定量法の導入前後で、次世代シーケンスのリード数のバラツキの違いを散布図にして比較しました。

- ・導入前のライブラリー定量法: 蛍光測定 (Roche社 標準プロトコル)
- ・導入後のライブラリー定量法: qPCR法 (KAPA Library Quantification kit, 型番KK4851)

qPCR装置 : Roche LightCycler® 480  
 ライブラリーDNA : HBVウィルスゲノム  
 ライブラリー作成キット : Roche社 GS FLX Titanium Rapid Library Preparation Kit  
 次世代シーケンサー : Roche GS Junior

### 結果



ライブラリーの定量化にqPCRを導入する前は、リード数が約65,000 ~ 132,000と全く安定しなかった。しかし、KAPA Library Quantification kitsを導入したところリード数は約100,000 ~ 140,000と非常に安定し、その後のシーケンシングの効率が非常に良くなりました。

#### <杉山先生のコメント>

KAPA Library Quantification kitsはメーカーの濃度調製済スタンダード溶液がついているため、簡便で再現性の高い測定が可能です。それにより期待したリード数を得やすくなりました。